

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表 令和4年 6月17日

事業所名 すまいるふぁーむ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	利用者数に対するスペースは確保しています。	
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	配置基準以上の人員は配置しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	手すり等を配置し、配慮しております。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	職員全体に共有しています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	適宜アンケートを実施しています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0%	100%		新規事業の為、今回が初回でありこの結果はホームページで公開予定です。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		今後検討しています。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	職員全体が外部研修を受けられるようにしています。		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	保護者様と利用者様のアセスメントにより、計画を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	標準化されたアセスメントシートを使用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	86%	14%	職員全体でプログラムの立案をしています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	固定プログラムも実施しておりますが、野外活動など様々なプログラムも実施しています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	それぞれに課題を設定しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	個々の状況に合わせて放課後等デイサービス計画を作成しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	職員ミーティングにより、当日の流れなどを把握するようにしています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	記録等により、職員に周知を図っています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	個別記録をとり、支援の改善に努めています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的にモニタリングを行い、計画内容の見直し等を行っています。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	複数組み合わせ合わせた支援を行っています。	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達支援管理責任者が参加し、その内容を職員全体に共有しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校や保護者様を通じて、情報共有を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	0%		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	保育所や幼稚園等に事前に訪問し、情報共有を図っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	0%		現時点で学校を卒業した利用者様はいませんが、情報提供等出来るよう努めます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	必要に応じて研修等を受けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	29%	71%		コロナ禍のため、交流の機会を確保できていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時や電話等で情報共有を図っています。	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	必要に応じて支援しています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者様の気持ちに寄り添った助言等を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		コロナ禍のため、交流の機会を確保できていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情をいただいた際は、迅速かつ適切に対応し、職員全体に共有し、再発防止に努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	適宜発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	厳重に管理しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	個々に合わせた支援を行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		コロナ禍のため、開催できていません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	マニュアルを策定し、職員には周知しています。	保護者様への周知は不完全なため、改善していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	定期的に実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	外部研修等を受講しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	身体拘束が必要な場合は保護者様等に説明を行い了解を得た上で放課後等デイサービス計画に記載しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	医師の指示書に従い、全職員に周知の徹底を図っています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハット事例が起きた場合には、全職員で共有して記録しています。	